# コロナ禍におけるムスリムの宗教実践

## ――金曜礼拝（集団礼拝）に関するファトワー分析を中心に――

青　柳　かおる

### はじめに

本稿では，中東・イスラーム圏における新型コロナウイルス（COVID-19）感染症禍におけるムスリム（イスラーム教徒）の宗教実践の様相について明らかにしたい[1]。コロナ禍におけるムスリムに関する先行研究[2]では，研究対象国の感染者数の推移，ロックダウン（都市封鎖）やモスク閉鎖などの経過，ソーシャルディスタンス（社会的距離）をとった宗教実践，ムスリムへのインタビューなどが扱われていた。しかし管見の限り，コロナ禍の宗教生活に関するファトワー（一般信徒からの質問に対するイスラーム法学者からの回答）を分析した研究は見当たらなかった。そこで本稿では，ファトワー提供ウェブサイトからコロナに関するフォトワーを抽出し，その内容を分類しながら，コロナ禍におけるムスリムの宗教実践，とくに金曜礼拝（集団礼拝）[3]の議論について明らかにしたい。

第一章では，先行研究やネットニュースを参照しながら，とくにエジプト，サウジアラビアを取り上げ，各国の主に2020年におけるモスクの閉鎖やソーシャルディスタンスを保った集団礼拝といった感染症対策の事例や，現地の

---

[1] コロナ感染者数や死者数などのデータについては，Johns Hopkins University Coronavirus Resource Center, “Mortality Analyses” https://coronavirus.jhu.edu/data/mortality 参照。なお，本稿で引用したウェブの最終閲覧日はすべて2022年12月1日。

[2] 本稿では主に国内の研究を参照した。国外の研究についても参照したが，詳細な先行研究の調査は今後の課題としたい。

[3] 金曜礼拝以外の集団礼拝として，イード（祝祭）の際の礼拝や葬儀の礼拝が挙げられる。

人々の様子について紹介する[4]。第二章では，サウジアラビアのウラマー（イスラーム法学者）が監修するファトワー提供ウェブサイト，Islam Q & A を参照し，コロナ禍で寄せられた信徒の質問に対するファトワーや，コロナ禍以前のものでも関連するファトワーを分析する。その際，とくに閲覧数が多く，ムスリムの関心が非常に高いと思われる金曜礼拝（集団礼拝）に関するファトワーに焦点を当てたい[5]。

金曜礼拝とは，金曜日の昼に行われる集団礼拝である。この礼拝への参加は健常な男性全員の義務となっている。女性，病人，子どもなどは義務を負わない。金曜礼拝は，正午を過ぎたズフル礼拝の刻限に，モスク[6] や礼拝所において集団で行われる。集団礼拝に最低必要な人数について，2人～40人の間のいくつかの見解がある。アザーンの後にイマームによる説教（フトバ）がなされ，通常のズフル礼拝の4ラクア[7] に代わり，2ラクアの礼拝を行う。現代のイスラーム諸国では，金曜礼拝の直前に読誦家によるコーラン朗誦を行うことが多く，その朗誦やイマームの説教はテレビやラジオで中継される。近年では，各国の有名なイマームの金曜日の説教が，ウェブサイトで音声または動画として多く公開されている（竹田 2002b）。

金曜日は“集合（ジュムア）の日”と呼ばれる。コーランに「あなたがた信仰する者よ，集団礼拝の日の礼拝の呼びかけが唱えられたならば，アッラーを念じることに急ぎ，商売から離れなさい（62章9節）」とあり，金曜日が集団礼拝の日と定められた。現代のイスラーム諸国では，金曜日を休日に指定していることが多い。これはイスラーム的なアイデンティティに基づくが，イスラームには安息日の観念はない。金曜日が休日である必要はなく，礼拝以外の時間

---

4　イランについては阿部　2021，日本については小谷ほか　2021，アメリカについては高橋　2022参照。中東における政治的なコロナ禍の影響と反応については，池内 2021参照。

5　金曜礼拝以外のファトワーについても若干本稿で触れるが，詳しくは稿を改めて論じたい。

6　今日では一般にムスリムが礼拝を行うための建物がとくにモスクと呼ばれる。モスクはその主たる機能の点から大きく2つに分類できる。1つは金曜日にイマーム（導師）による説教と集団礼拝が行われるモスク，もう1つはその機能を果さないモスクである。前者は，アラビア語では，集会モスク（マスジド・ジャーミウ），金曜モスク（マスジド・アル=ジュムア），または略してジャーミウなどと呼ばれ，規模の大きなモスクが多い。後者はたんにマスジドと呼ばれる（羽田 2002）。

7　ラクアとは礼拝動作の単位のことで，五回の礼拝それぞれで何ラクア行うかが決められている。

には働くことが推奨されている（竹田 2002a）。

## 第一章　コロナ禍における中東のムスリムの宗教実践――エジプト，サウジアラビア

### 第一節　エジプトの状況

まずエジプトの事例について，岩崎 2021を参照しながら紹介する[8]。エジプトでは2020年2月14日に国内最初のコロナ感染者（外国人）が確認され，3月下旬になるとエジプト人の間でも徐々に感染者が増え，5月，6月には爆発的に増加，7月以降は徐々に減少した。しかし11月に入ると再び感染者，死者ともに増加し始め，12月に入ると第2波が訪れた。2021年1月に入ると，多少の減少がみられ，2020年5月，6月，また12月に感染が急激に拡大したことがよく分かる（岩崎 2021, 181-182）。

多くのエジプト人にとって，宗教は日常生活と密接な関わりをもっている。コロナ感染拡大の契機となりうる宗教実践として，礼拝，聖者崇敬[9]，祝祭[10]という3つの宗教実践がある。1日に5回の礼拝（サラート）[11] は五行（ムスリム

---

8　岩崎はエジプトのコプト正教徒の事例も分析しているが，本稿では取り上げない。コロナ禍におけるエジプトの社会保障については，河村 2021参照。

9　信仰の場において人々が密接する契機は礼拝の時間帯だけではない。エジプトでは，著名な聖者にかかわる聖者廟には日常的に多くの参詣者が訪れる。ムスリム聖者廟においては，信徒は慕廟に口づけし，バラカ（神の恵み。この場合は聖者を通して得られるとされる）を得ようとする。ナズル（願かけ）をする信徒は，廟に手を触れたまま心のなかで願いごとを唱える（岩崎　2021, 186）。ただし，サウジアラビアでは多神崇拝につながるとして聖者崇敬，聖者廟参詣が禁止されている。一方，イランではイマーム（シーア派の指導者）廟参詣が盛んであり，2020年初めにはマシュハドのレザー廟（第8代イマーム）やコムのファーティマ廟（レザーの妹の廟）に人々が殺到し，感染が拡大した（阿部　2021）。コムのウラマーは病の癒しになるとしてコムへの巡礼を呼びかけたという（Piwko 2021, 3299）。コムやクアラルンプール近郊（ジャマーアト・タブリーグの集会）で発生したクラスター，ISISのコロナに関する声明等については，Piwko 2021参照。

10　祝祭も人々が集まる重要な宗教実践である。イスラームは 1 年に 2 つの大祭を盛大に祝う。断食明けの祭と犠牲祭であり，これら2大大祭の際には，特別な礼拝が行われるため，通常よりもずっと多くの信徒がモスクに赴く。礼拝の終了後は，親戚が一同に会し，祝祭用のご馳走をともに食し，旧交を温める（岩崎　2021，188）。これらの祝祭の際には，金曜礼拝以外にも集団で礼拝が行われる。

11　礼拝は清浄な場所でならどこでも可能だが，モスクで集団で行うことが推奨されている。個人礼拝よりも集団礼拝のほうが25倍または27倍の価値があるとされる（森 2002）。

が守るべき5つの宗教的義務）の1つである。普段の礼拝は職場や家庭で行ってもよいが，成人男性の場合，金曜昼の礼拝は集団で行うことが義務であることから，通常はモスクで行われる。また金曜昼はモスクでの集団礼拝に参加する女性や少年たちも多い。金曜集団礼拝では，通常の礼拝のほかに礼拝指導者（イマーム）による説教も行われるため，全体で30～40分にわたる場合が多い（岩崎 2021, 184-185）。

コロナ禍以前のエジプトのモスクでは，とくに金曜礼拝の際には，人であふれかえっていた。モスクに入りきれないムスリムは外の通りにサッジャーダ（礼拝用絨毯）を敷いて礼拝していた。モスクでの礼拝は単に人が多いだけではなく，ほかの信徒との身体的接触が伴う。イスラームの礼拝においては，信徒は両肩が隣の信徒の肩と触れ合うように並ばなければならない（岩崎 2021, 185-186）。

政府による社会的規制として，感染拡大防止のため，エジプト政府はまず2020年3月9日に大規模集会と大人数での他県への移動を規制した。その後，同月16日から2週間の条件で小学校から大学までの教育機関の休校，礼拝を含む大人数での集まりや地元サッカーリーグの試合禁止を追加した。多少の緩和を伴いながら外出禁止などの対策が取られたが，経済への影響に配慮する必要が出てきたため，2020年12月の時点では，3月から6月までのような厳しい措置はとっていない（岩崎 2021, 189）。

感染拡大防止のために社会や個人の活動が制限されるなか，宗教界の対応は比較的早かった。まず，10世紀からの伝統を持つ研究・教育機関アズハル機構の大イマーム，アフマド・タイイブ師（在任 2010～）が3月14日に「このような衛生上の危機のなかでは，金曜集団礼拝をはじめとする集団礼拝を取り止めることは許容される」とするファトワーを出した。エジプトの宗教担当省庁であるワクフ庁は3月20日，このモスクを閉鎖し，あらゆるモスクおよび礼拝場を3月21日から2週間にわたって閉鎖することとした。葬儀のためのモスク利用も例外ではなく，ジャナーザ礼拝（葬儀のための礼拝）は屋外でのみ許可された（岩崎 2021, 189-190）。

礼拝，聖者信仰，祝祭といった多くのエジプト人にとって重要な意味を持つ

宗教実践は，他者との身体接触が不可避であることから，感染者が増加した3月から約3か月間，モスクや教会をはじめとする宗教施設が閉鎖された。感染者が減少した6月にモスクは十分な感染対策を施したうえで，一部礼拝を再開し，8月にはイスラームの金曜集団礼拝を再開した[12]。こうした状況からは，前例のない事態に対し，ワクフ庁が政府の規制や感染状況を見極めながら，刻々と変化する事態に臨機応変に対応していることが伺える（岩崎 2021, 195）。

最後に岩崎は，エジプトのコロナ禍を調べるなかでオンラインでの礼拝に関する情報があまりなかった点について意外に思ったとしている。現地に住むムスリムに尋ねても，エジプトではオンライン礼拝は一般的ではないという。その理由として，ムスリムは，金曜集団礼拝以外の礼拝は家や職場で十分できることを挙げている。しかし，岩崎が近年調査を行っているイギリスやカナダのモスクでは，コロナ禍以前からモスクに来られない信徒のために YouTube を利用した礼拝のライブ配信を行っており，コロナ禍以降，その重要性は増しているという（岩崎 2021, 195）[13]。

## 第二節　サウジアラビアの状況

次にネットニュースを参照しながら，サウジアラビア[14] のモスクの閉鎖状況

---

[12] モスクで礼拝の再開が認められたのは 2020年6 月27日。ただし，金曜集団礼拝は禁止が続いた。ワクフ庁は，マスクの着用，個人用サッジャーダ（礼拝用絨毯）の持参，1.5m以上の対人距離の確保等の規定を定め，守られなかったモスクは再閉鎖するとした。葬儀礼拝もひきつづき禁止とされた。金曜集団礼拝については8月28日から一般のモスクでも解禁された（岩崎 2021, 190-191）。

[13] 岩崎は，コロナ禍のエジプトと欧米諸国のムスリム／コプトの宗教実践の比較も行っていきたいとしているが，筆者も中東と欧米では対面／非対面に関する考え方が違うのではないかと感じた。またIslam Q & Aには，テレビを介した自宅での礼拝は許されないとするファトワーもあったので，それについては本稿第二章で論じたい。

[14] サウジアラビアは　2020年2月末よりメッカとメディナへの巡礼を中止。3月末に全土でロックダウンを開始した（石井　2020，2-3）。ラマダーン期間中（4月24日～5月22日）の特別措置として外出制限を一部緩和，5月23～27日までの5日間は例外となる業種を除いて全土で24時間の完全ロックダウンとしたが，メッカを除いては6月21日から外出禁止措置が全面解除された。柴田美穂「外出規制を段階的に解除へ（サウジアラビア）」（2020年5月27日付）https://www.jetro.go.jp/biznews/2020/05/0ecc813d972a00b0.html　なお，サウジアラビアの2020年前半の詳細な感染状況と対策についてはAwaji 2020参照

および2020年から2022年までの3回のメッカ巡礼[15] の状況の推移を見ていきたい。

「サウジアラビア モスクの礼拝 段階的に再開へ 新型コロナ」(2020年5月27日付)[16]。

中東のサウジアラビアでは新型コロナウイルスの感染拡大を防ぐため，モスクでの礼拝を原則禁止する異例の措置をとってきたが，医療態勢の拡充などが進んだとして段階的にモスクでの礼拝を認める計画を発表した。イスラーム教の厳格な解釈に基づく統治を続けてきたサウジアラビアでは，感染拡大を防ぐため，今年3月から多くの人が集まるモスクでの礼拝を原則禁止する異例の措置をとってきた。これについてサウジアラビア政府は26日，集中治療室の拡充や人工呼吸器の確保などの対策が進んだとして，外出制限を一部緩和し，段階的にモスクでの礼拝を認める計画を発表した。計画では今月31日からは，イスラーム教の聖地メッカを除いて国内のすべてのモスクでの礼拝が解禁され，メッカのモスクでの礼拝も来月21日以降に，認められる見通しだとしている。一方，国内外からのメッカへの巡礼の受け入れについては，再開のめどは示していない。サウジアラビアではこれまでに感染者が7万人を超えていて，いまも1日2000人以上のペースで感染者が増えている。一方で，外出制限措置の長期化などで経済への打撃も深刻化していて，サウジアラビア政府としてはモスクでの礼拝を解禁することで日常生活を取り戻しつつあることを内外にアピールするねらいがあるとみられる。

以上のように，サウジアラビアでは2020年6月下旬には，メッカを含むモスクでの礼拝は許可されていた。モスクが閉鎖されていたのは短期間であり，コロナ禍でもモスクでの集団礼拝が可能だったようである。

次にメッカ巡礼について，まず2020年の様子は以下のようである。

「イスラム教のメッカ大巡礼始まる　感染対策で外国人禁止」(2020年7月29

---

15　五行の一つである，巡礼月に行われるメッカ大巡礼（ハッジ）。ほかの時期に行うメッカ巡礼は小巡礼（ウムラ）という。

16　https://www3.nhk.or.jp/news/html/20200527/k10012446301000.html

日付)[17]。

世界各地のイスラム教徒がサウジアラビアの聖地メッカを訪れる，毎年恒例の「ハッジ」が始まる。新型コロナウイルスの影響で，今年は大幅に規模が縮小されている。新型ウイルスのパンデミック（世界的流行）を抑えるため，国外からの巡礼は禁止された。例年は約200万人の巡礼者が訪れるが，今年は1万人ほどと見込まれている。巡礼者の大多数は通常，国外からやって来る。ただ今年は，外国人で巡礼が認められるのは，サウジアラビアに居住している人だけだ。AFP通信によると，先週末からメッカに到着し始めた巡礼者らは，体温測定とウイルス検査を受ける。巡礼の前後には隔離される。マスクは常時，着用しなくてはならない。……サウジアラビアでは3月には大部分の市や町で，すべての時間において外出を禁止するなど，厳格な感染防止対策を取った。先月になってやっと，ロックダウンが解除された。

このように2020年のメッカ巡礼は，例年に比べ規模を大幅に縮小し，国内の巡礼者1万人により，ソーシャルディスタンスをとって実行された。2021年のメッカ巡礼は以下のようになった。

「メッカ大巡礼，最高潮　コロナ禍で今年も規模縮小 —— サウジ」(2021年7月19日付)[18]。

サウジアラビア西部のイスラーム教の最大聖地メッカでの大巡礼（ハッジ）は19日，預言者ムハンマドが最後の説教をしたというメッカ近郊アラファト山に祈りをささげる信徒が集結し，最高潮を迎えた。昨年に続いて新型コロナウイルス流行が収まらず，感染力の強い変異株への警戒からサウジ国外からの受け入れを中止。抽選で巡礼者を最大6万人に絞り込むなど，規模縮小を強いられた。……メッカに到着した信徒が聖モスク内のカーバ神殿を7周する儀式では信徒同士が距離を保つよう求められ，頻繁な消毒といった感染防止対策が徹底されている。

このように2021年のメッカ巡礼では国内の6万人がソーシャルディスタンス

---

[17] https://www.bbc.com/japanese/53577330
[18] https://www.jiji.com/jc/article?k=2021071900538&g=int

を保って行われたという。また以下のように，同年10月にはメッカの聖モスクでのソーシャルディスタンスが解除され，外国人巡礼者も受け入れが始まった。「「社会的距離」を解除　イスラーム教聖地メッカの聖モスク」（2021年10月18日付）[19]。

サウジアラビアのメッカにある聖モスクで取られてきたソーシャルディスタンスの措置が17日，解除された。新型コロナウイルスのパンデミック（世界的大流行）が始まって以来，初めて信徒が肩を並べて祈りを奉げた。社会的距離を確保するため聖モスク内の床などに貼られていたマークは取り外された。これについて国営サウジ通信は「予防措置を緩和し，聖モスクへの巡礼者や訪問者を収容能力いっぱいまで認めるという決定に沿ったものだ」と伝えた。ただ，来訪者はワクチン接種を完了し，聖モスクの敷地内ではマスクを着用しなければならない。サウジは今年8月，小巡礼（ウムラ）を望むワクチン接種済みの外国人の受け入れを開始すると発表。7月の大巡礼（ハッジ）は例年よりも大幅に縮小され，参加が認められたのはワクチン接種を受けた住民約6万人にとどまっていた。サウジにとってメッカ巡礼は主要な収入源で，その経済効果は年間120億ドル（約1兆3700億円）に上るが，パンデミックのため巡礼は大きな制約を受けた。

そして2022年には，以下のように大幅に緩和されている。

「大巡礼，今年は100万人　コロナ感染減少で緩和 ―― サウジアラビア」（2022年4月9日付）[20]

サウジアラビア政府は9日，世界中のイスラム教徒が西部の聖地メッカを訪れる大巡礼で今年は国内外から100万人を受け入れると発表した。新型コロナウイルス流行で過去2年間は巡礼を制限していたが，感染が減少傾向にあるため大幅に緩和する。コロナ禍前は例年約250万人が訪れていた。サウジ政府によれば，今年参加を認めるのは65歳以下で，ワクチン接種済みの巡礼者に限定。サウジ渡航前のPCR検査も義務付ける。

---

[19] https://www.jiji.com/jc/article?k=2021101800585&g=int
[20] https://www.jiji.com/jc/article?k=2022040900444&g=int

メッカ巡礼の3年間の推移を見てきたが，2020年はソーシャルディスタンスを保った上で，国内の1万人，2021年は同様の条件で6万人，2022年はソーシャルディスタンスが解除され，外国からの巡礼者を含む100万人が巡礼を行った。例年は250万人が参加するので半分未満の人数であるが，2020年に比較すれば格段に緩和されたと言えよう。

## 第二章　コロナ禍におけるファトワー ―― 金曜礼拝（集団礼拝）を中心に

### 第一節　コロナ禍におけるファトワーの概観

まず，コロナ禍の生活全般に関するファトワーを列挙し，一般信徒がどのような事柄に関心を寄せていたのかを概観したい。現代のスンナ派・サラフィー主義のウラマーであるムハンマド・サーリフ・アル=ムナッジド（Shaykh Muḥammad Ṣāliḥ al-Munajjid）が監修する，ファトワー提供ウェブサイト，イスラームQ&Aを参照し，“Covid 19” および “Corona virus” で検索した結果，Questions regarding corona virus（COVID-19）という項目で21件のコロナに関連するファトワーがヒットした。そのうち15件は2020年～2021年のコロナ禍におけるファトワーであり, 6件はコロナ禍以前のファトワーであった。また “Covid 19 lockdown”, “Covid 19 online” などでも検索した結果，さらに5件のファトワーが追加された[21]。以下，26件のファトワーのタイトルを閲覧数の多い順に列挙する[22]。

なお，○を付けたファトワーは2022年12月1日の時点で閲覧数が3万以上であり，多く閲覧されていると判断したものである[23]。それによれば，礼拝に関するファトワーの閲覧数が，コロナ禍の前後でどちらも多いことが分かる。また本稿の本文で引用したファトワーには下線を引いた。

---

[21] 2022年8月3日時点（筆者が論文の執筆を開始した時点）の検索結果。
[22] 英語のウェブサイトの閲覧数による。アラビア語のサイトの閲覧数は異なるが，大まかには英語サイトと同様である。
[23] ほかのファトワーの閲覧数は，数千～3万未満。

2020年～2021年のファトワー[24]

・伝染病が蔓延しているか，またはその恐れがある場合に，金曜礼拝および集団礼拝に出席する際の規則○
・病気と伝染病に対する祈願（ドゥアー）○
・コロナウイルスによって死亡した人は殉教者になるのですか○
・コロナウイルスの大流行（パンデミック）に関するムスリムの規則○
・コロナウイルスの流行による外出禁止のため，自宅でイード（犠牲祭，断食明けの祭り）の礼拝を捧げる際の規則○
・コロナウイルス感染を恐れて列の間隔を空けて礼拝する際の規則○
・ラマダーン中にコロナワクチンを打つことは断食を破ることになりますか
・メッカとメディナは伝染病から守られているのですか
・ウイルスを防御するために防護服を着ている人は，どのように礼拝前の浄め（ウドゥー）および礼拝を行うのですか
・伝染病を制御するためのイスラームの教え
・中絶胎児の細胞を使用したコロナワクチン接種の規則
・伝染病に対して，祈祷文（ルクヤ）はどれほど有効ですか
・職場で（礼拝の）平伏の際に，コロナウイルスを恐れて，平伏を省略したり，自宅でまとめて礼拝することは可能ですか
・コロナウイルスによって亡くなった方（通常の葬儀の集団礼拝が行われない）のために，個人で葬儀の礼拝を行うことについて
・神が創造されたものの悪からの保護を神に求める際の規則
・コロナに感染し，隔離されているが，月経中に浄め（グスル）ができず，またタヤンムム（土や砂による浄め）のための砂を見つけられません
・「ライオンから逃げるようにハンセン氏病者から逃げなさい」というハディースに基づき，医師はハンセン氏病者と接することを禁止していますか
・ラマダーン中のコロナ検査に関する規則

---

[24] コロナに関するファトワーには，2022年に発出されたものは管見の限り見当たらなかった。おそらく2022年には世界的にロックダウンはほとんど行われていなかったこと，2021年以前のファトワーを参照すれば問題が解決したことが理由であると思われる。

コロナ禍以前のファトワー

・モスクの外で（礼拝の）イマームに従ったり，ラジオを聞きながら礼拝を行うことに関する規則○
・風邪を引いたり咳をしている人は，危害や感染を恐れて，集団礼拝に出席するのをやめることは可能ですか○
・エボラ出血熱が広まっている国からの移動に関する規則○
・良好な健康状態を維持するための預言者ムハンマドの教え○
・ラジオやテレビのイマームに従って礼拝することは正しくありません○
・イフラーム（禁忌）の状態で巡礼する際，マスクをすることは許されるのですか
・浄め（ウドゥー）の際に，髭を指で触れることについて
・イフラームのときに，必要であれば女性は医療用手袋をはめることは可能ですか

ファトワーのタイトルを一瞥すると，コロナに感染しないように人やものとの接触を避けるためのファトワーが多いが，ここではファトワーの内容を以下のように分類しておきたい。

１）コロナ禍における金曜礼拝（集団礼拝）
２）コロナに対する感染症対策（ワクチン，非接触，隔離，移動制限，防護服等）
３）コロナや伝染病に対する神への祈願[25]
４）そのほか[26]

---

[25] コーランの文言やハディースの祈祷文が列挙されているファトワーが多かった。

[26] たとえば「コロナウイルスによって死亡した人は殉教者になるのですか（Is the one who dies of the coronavirus (Covid-19) a martyr?）」（2020年4月10日付，回答者不明）という質問に対し，コロナウイルスが人の肺にダメージを与え，それが死因となった場合，「結核は殉教である」というハディースがあるので，その人は殉教者になることが期待できるという。https://islamqa.info/en/categories/selected/46/answers/334078　このファトワーとは別に，アーイシャ（ムハンマドの妻）がペストについて尋ねたとき，神の使徒は「それはアッラーがそうしようとする者に対して下される罰であるが，神はそれを信仰者には恵みの手段とされる。ペストに罹ったが，自分の国に留まり，神が予め定めたことのほかは起こらないと信じ，来世の報いを望んで耐え忍ぶ者は，必ず殉教者と同じ報いを与えられるであろう」と言った（ブハーリー 2001, 3巻, 363）というハディースがあり，ペストを他人に感染させないように移動せずに亡くなった場合，殉教者になれるとされている。

１）と２）は重なる部分もあるが，金曜礼拝に関する独立したファトワーが発出され，しかも閲覧数が最も多く，ムスリムの最大の関心事は金曜礼拝だと思われたので，次節では礼拝に関するファトワーを考察することにする。

## 第二節　金曜礼拝（集団礼拝）に関するファトワーの分析

・個人で行う礼拝の感染症対策

まず，個人で行う礼拝の際の注意点を述べたファトワーを見てみよう。

「職場における（礼拝の）平伏の際に，コロナウイルスを恐れて，平伏を省略したり，自宅でまとめて礼拝することは可能ですか（Can he omit prostration or put prayers together at home, because he is afraid of contracting coronavirus if he prostrates in his workplace?）」（2020年5月10日付，回答者不明）[27]

質問：（礼拝で）平伏するとき，鼻が床やカーペットに触れますが，床は自宅の床と違い，みんなが靴を履いて歩いています。そのため，床から鼻にウイルスが感染する危険性が高いです。平伏せずに礼拝することはできますか？あるいは，自宅でまとめて礼拝することはできますか？

回答：第一に，病気のため，あるいは不浄な場所に拘束されているために伏せることができない場合は，前傾姿勢をとるべきである。額にひれ伏すことができない場合は，できるだけ前かがみになり，ほかの部位にひれ伏す義務は免除される。

第二にズフル（正午過ぎ）とアスル（日没前），マグリブ（日没後）とイシャー（夜）の礼拝を一緒に行うことが許される理由でない限り，礼拝を定刻より後に遅らせることは許されない。

感染症を避けるための予防策についてあなたが質問したことは，平伏しないことや二回の礼拝を一回にまとめることの言い訳にはならない。礼拝用マットを敷いてその上で礼拝すればよいし，床に触れる面を消毒すればよいだろう。また，安価なビニール製のテーブルクロスや清潔なビニール袋を何枚か持って

[27] https://islamqa.info/en/categories/selected/46/answers/335350

いき，その上で礼拝を捧げ，終わったらゴミ箱に捨てることもできる。そうすれば床からの害から身を守れるし，伝染病からも身を守れるだろう。

以上のように，床に平伏するとウイルスに感染する可能性があるが，額を床に付けずに前傾姿勢をとってもよいとされている。また床に直接触れないように使い捨てのビニールを敷くなどすれば礼拝は可能であるから，職場で礼拝を行わずに自宅で礼拝をまとめて行ったり，礼拝をしないことは許されないとされている。

・金曜礼拝（集団礼拝）を欠席しても許されるのか

金曜礼拝や集団礼拝への出席に関するファトワーとして，以下のものがある。

「伝染病が蔓延しているか，またはその恐れがある場合に，金曜礼拝および集団礼拝に出席する際の規則（Ruling on attending Jumʿah prayer and prayers in congregation in the event of an epidemic or fear of an epidemic）」（2020年3月12日付，回答者不明）[28]

質問：伝染病が蔓延しているとき，あるいはその恐れがあるとき，金曜礼拝や集団礼拝に参加しないことについて，どのような規則がありますか。

回答：……サウジアラビア王国の上級学者評議会は，ヒジュラ暦1441年（西暦2020年）7月16日にリヤドで開催された第24回臨時会合で，伝染病やその恐れがある場合に金曜礼拝と集団礼拝に出席しないことについて提出された質問を検討し，……以下の声明を発表した。

１）このウイルスに感染した者が金曜礼拝や集団礼拝に参加することは禁じられている。なぜなら，預言者は「病気の（ラクダを）健康な（ラクダと）一緒にしてはならない（ブハーリー 2001, 5巻, 252）」[29] と言われたからである。また預言者が「或る土地にペストがはやっていることを聞いたならば，そこへ行くな。しかしあなたが留まっている国に起こったときは，そこから逃げ出す

[28] https://islamqa.info/en/categories/selected/46/answers/333514

[29] https://sunnah.com/bukhari:5771 ハディースのアラビア語原文と英訳については https://sunnah.com を参照した。なお牧野訳では「病気の駱駝を持つ者は健康な駱駝を持つ者と一緒に水場に行ってはならない」とされているが，アラビア語原文と若干異なっているようである。

な（ブハーリー 2001，5巻, 238-239）」[30] と言われたからである[31]。

２）専門機関が隔離を決定した場合，その人はそれに従う義務があり，金曜礼拝や集団礼拝に出席してはならない。したがって，彼は自宅か隔離された場所で礼拝を捧げるべきである。……

３）自分に危害が及ぶかもしれない，あるいは他人に危害を加えるかもしれないと恐れる者は，金曜礼拝や集団礼拝に参加しないことが許される[32]。……

これらの理由で金曜礼拝に参加しない場合は，4ラクアによるズフル（正午過ぎ）の礼拝をしなければならない。上級学者評議会は，専門機関が発行する指示，ガイドライン，プロトコルに従うよう助言している。

以上のように，このファトワーでは，感染者は感染予防のために金曜礼拝に出席することは禁止され，自宅で行うべきであるとしている[33]。

・集団礼拝の際に間隔を空けることは許されるのか。

「コロナウイルス（Covid-19）感染を恐れて列の間隔を空けて礼拝する際の規則（Ruling on praying with gaps in the rows for fear of catching coronavirus (Covid-19)）」（2020年6月10日付，回答者不明）[34]

---

[30] https://sunnah.com/bukhari:5728　このハディースと類似のハディースは，ブハーリー 2001，3巻, 362; ブハーリー 2001, 5巻, 239など複数ある。

[31] 「エボラ出血熱が広まっている国からの移動に関する規則（Ruling on travelling from a country where the Ebola virus is widespread）」（2016年2月21日付，回答者不明）によると，預言者は，そこから逃げるために立ち去る場合にのみ立ち去ることを禁止したので，仕事などの用事がある場合は移動してもよいとされている。ただし，感染を避けるためだけの理由では許されない。https://islamqa.info/en/answers/225592

[32] 多くのイスラーム法学者が，モスクではなく自宅での礼拝を許可するための根拠となるハディースを探し，雨が降る寒い日には自宅での礼拝を認めるハディースを引用したりした（Thurston 2020, 15-16）。雨天の日は住居で礼拝を行ってよいとムハンマドが述べたというハディースが複数伝わっている。https://sunnah.com/muslim:697aなど。The Book of Prayer-Travelers, Chapter: Praying in dwellings when it is raining; ムスリム 2001, 第1巻, 477-479参照。

[33] コロナ禍以前のファトワー「風邪を引いたり咳をしている人は，危害や感染を恐れて，集団礼拝に出席するのをやめることは可能ですか（Can a person who has a cold or a cough be prevented from attending prayers in congregation for fear of harm and infection?）」（2012年11月25日付，回答者不明）でも，以下のように述べられている。：伝染病に罹患している場合，その人はほかの礼拝者に害を与えないように，金曜礼拝と集団礼拝に参加しないことが許される。なぜなら，預言者ムハンマドは「病気の者を健康な者と一緒にしてはならない」と述べたからである。https://islamqa.info/en/categories/selected/46/answers/115117

[34] https://islamqa.info/en/answers/333882

質問：コロナウイルスが流行しているため，集団礼拝で礼拝者の間隔を空けることについて，どのような裁定がなされていますか？

回答：伝染病や病気の蔓延を恐れて，列をなす礼拝者の間に間隔を空けてモスクで集団礼拝を行うことは許され，それはモスクを閉鎖するよりもよいことである。この場合，狭い列を形成しないことには正当な理由がある。

このように，モスクで集団礼拝を行う際には，本来は周囲の人々と密接して行うべきであるが，コロナ禍ではソーシャルディスタンスを保つことが許可されている。そして間隔を空けた礼拝は，モスクを閉鎖し，まったく集団礼拝が行えないよりはよいとされている。

・非対面の集団礼拝は許されるのか

続いて，対面ではなく非対面の集団礼拝は可能なのかという問題に関する二つのファトワーを見てみたい。二つのファトワーが発出された年代（2003年，2010年）には中東では非対面のツールとしてテレビとラジオが一般的だったと思われるが，現代ではパソコンやスマートフォン等が普及しており，ビデオ会議システムや動画配信サイトも含めてよいだろう。なお，コロナ禍以降には非対面の集団礼拝に関するファトワーは見当たらなかった。

「ラジオ（midhyāʾ）[35] やテレビのイマームに従って礼拝することは正しくありません（It is not correct to pray following the imam on the radio or TV）」（2003年11月2日付，回答者不明）[36]

質問：女性がテレビで（メッカの）ハラーム・モスクのイマーム（礼拝の導師）に従って礼拝を行うことは許されますか？

回答：シャイフ・イブン・ウサイミーン（Shaykh Ibn ʻUthaymīn）はファトワー集（*Majmūʻ al-Fatāwā* 15/213）で以下のように尋ねられた。:ムスリム，特に女性は，（直接）イマームを見ることなしにテレビやラジオ経由で礼拝を行うことができますか？

---

[35] アラビア語のmidhyāʾの訳語として，英訳ではradio（ラジオ）とbroadcast（放送）が使い分けられていたので本稿でもそれに従った。

[36] https://islamqa.info/en/answers/50245

彼は以下のように回答した。：誰であっても，ラジオやテレビ経由でイマームに従うことは許されない。なぜなら集団礼拝とは，同じ場所で一緒にいることを意味するからである。つまり，一つの場所に互いに接触しながら列を作らなければならない。ラジオやテレビでの礼拝は，これらの基準を満たしていないため許されない。もし私たちがそれを許せば，誰もが自分の家で一日五回の礼拝すべてを行うことができてしまい，金曜礼拝もそうなってしまう。これは，金曜礼拝と集団礼拝の規定の背後にある知恵に反している。このことに基づいて，女性だろうと誰であろうとラジオやテレビに従って礼拝することは許されない。

常任委員会（The Standing Committee）は以下のように尋ねられた。：女性が村の拡声器に合わせて，自宅で金曜礼拝やほかのすべての礼拝を行うことは許されますか？病気のためモスクで礼拝できない人が，家から拡声器を通してイマームに従うことは許されますか？

彼らは以下のように回答した。：男性も女性も，病弱か健康かを問わず，自宅で一人または複数で，スピーカーを介してモスクのイマームの礼拝に従って礼拝することは許されない。義務的礼拝（五回の礼拝）であろうと義務以上の余分の礼拝であろうと，金曜礼拝であろうとそのほかの礼拝であろうと，またその人の家がイマームの後ろにあるか彼の前にあるかに関わらず。義務的礼拝は，健康な男性によってモスクで，集団で行われるべきであるが，女性と健康状態のよくない男性はその義務を免除される。

このファトワーでは，テレビやラジオ，スピーカーが例示されているが，対面と非対面の問題を論じた内容であり，オンラインを仮想の集団礼拝に活用できるのかという議論と同様の扱いにできると思われる。ファトワーでは，集団礼拝とは信者が一か所に集まって行うべきであり，テレビやラジオを見ながら自宅で礼拝することは許されないと述べられており，現地のモスクに行って対面で礼拝を行う必要があるという。非対面の集団礼拝に関するファトワーをさらに紹介したい。

「モスクの外で（礼拝の）イマームに従ったり，ラジオを聞きながら礼拝を行うことに関する規則（Ruling on following the imam from outside the mosque or

following a prayer by listening to the radio)」(2010年6月28日付)[37]

質問:(メッカの)ハラーム・モスクの礼拝の様子を自宅のテレビで見ながら,ラマダーン中の夜の(集団)礼拝(タラーウィーフ)を行うことは可能ですか?

回答:集団礼拝ではモスクに行かなければならない。……一部の現代の法学者が,放送による礼拝は許され,金曜礼拝のためにモスクに行く必要はない,なぜならより多くの集団と礼拝できるのでその方がよいと述べている[38]。しかし,これは誤った見解である。そのようなことをしたら,集団礼拝と金曜礼拝の廃止につながり,礼拝者たちの列が途切れ,立法者(神)が礼拝を命じた目的が達成されなくなる。そして放送の礼拝に従う人とイマームとの間には大きな距離があり,これが悪への扉を開く。(モスクの外でも)タクビール(神への賞賛)が聞こえ,(モスクの外に人があふれて)列が途切れない限り,イマームに従うことは有効であり,モスクが満員で列が途切れず,人々が市場や店の外で礼拝をしていれば,それは何の問題もない。

このように,テレビやラジオなど放送を通じた礼拝は列が途切れてイマームとのつながりがないため,許されないという。人々がつながることが神の命令の目的であるから,集団礼拝では現地のモスクに行く必要があるとされている。

非対面の集団礼拝を認める法学者も一部にいるようであるが,多くの法学者や一般のムスリムは対面礼拝を正しい集団礼拝とみなしているようである。本稿第一章のエジプトの事例紹介で岩崎が述べていたように,エジプトではオンラインの礼拝がほとんど行われていなかったという。ただし岩崎によれば,欧米のモスクではオンライン礼拝が行われているところもある。またアメリカでは,コロナ禍ではオンラインで金曜礼拝を行っていたイスラーム団体があり(高

---

37 https://islamqa.info/en/answers/45611

38 非対面の集団礼拝を認めた法学者の氏名は不明だが,「ラジオ(放送)の後ろにいる信者の礼拝の正当性の確信(“al-Iqnāʻ bi-ṣiḥḥah ṣalāt al-ma’mūm khalfa al-midhyāʻ”)」という論考に述べられているという。この論考は検索しても見つからなかったが,アフマド・アル=グマーリー(Aḥmad al-Ṣiddīq al-Ghumārī, 1902-1960)というモロッコの学者による『ラジオの背後での金曜礼拝の正当性の確信(*al-Iqnāʻ bi-ṣiḥḥah ṣalāt al-jumʻah fī manzil khalfa al-midhyāʻ*)』という著書があり,以前からこの問題は論じられていたようである。

橋 2022)[39]，集団礼拝は対面で行わなければならないのか，非対面でも許容されるのかは，法学者や地域によって解釈が異なると言えよう[40]。

## 結　論

本稿では，まず中東・イスラーム圏の中でも，エジプトと聖地メッカを擁するサウジアラビアを中心に，コロナ禍における感染対策の状況について論じてきた。エジプトでは，2020年3月から約3か月間，モスクや教会が閉鎖されたが，6月にはモスクにおける一部の礼拝が再開され，8月には金曜日の集団礼拝が再開された。サウジアラビアでは，2020年にコロナ禍が始まった頃は，モスクの閉鎖やロックダウンなどの感染対策が取られていたが，2020年6月には大幅に緩和された。メッカ巡礼については，2020年は１万人，2021年は6万で行われたが，2022年には100万人に大幅に増加した。

次にコロナ禍における宗教実践に関するファトワーを検討したところ，さま

---

39　スーフィー系団体「タアリーフ・コレクティヴ（Ta'leef Collective）」のカリフォルニア州フリーモント支部は，コロナ禍以前は金曜礼拝を行っていなかった。しかしコロナ禍ではオンライン礼拝を行うようになり，規制緩和後はハイブリッド形式で開催していたが，現在は行っていない。一方，シカゴ支部では対面の金曜礼拝を行っているという（高橋 2022, 120）。現在行われているイベントについては，https://www.taleefcollective.org/events参照。

40　日本の東京ジャーミイ（モスク）の広報スタッフの下山茂氏によると，2020年4月24日から1か月間にわたり，断食明けの夕食会や毎週金曜日に行われる集団礼拝などの行事を自粛したが，モスクに来ることができない信者のために，イマーム（指導者）によるコーランの朗読をYouTubeで配信したという。またビデオ会議アプリを使ってラマダーンの意義や精神・肉体への効能を解説する講義を実施した。「イスラム教徒の集団礼拝，ラマダーン（断食月）はコロナ禍でどうなる？」（2020年5月14日付）https://nikkan-spa.jp/1665785　東京ジャーミイの2020年のラマダーンのオンライン・イベント・スケジュール（https://tokyocamii.org/notice/3233）によると，金曜日のイベントは「12:45-13:45過去のラマダーンのホトバ（説教）」となっており，説教のみが配信されていたようである。2022年8月の東京ジャーミイのYouTube配信（https://www.youtube.com/TokyoCamiiTV）では「金曜礼拝のホトバ」を視聴できるが，集団礼拝を指導するイマームや集団の信者たちの礼拝する様子は視聴できず，やはり対面礼拝が基本のようである。つまり金曜礼拝を自宅で個人的に行い，礼拝前の説教を動画で視聴することはできるが，集団礼拝をしたことにはならないということだろう。なお2022年9月以降の東京ジャーミイのホトバは，動画ではなく文章がホームページに掲載されている（https://tokyocamii.org/ja/khutba参照）。また日本のほかの複数のモスクでも，説教や勉強会をオンラインで実施したところもあるという（小谷ほか 2021，10）。しかし，金曜礼拝の代替となる動画を配信したわけではないようである。コロナ禍における日本のさまざまな宗教の実践についてはMcLaughlin 2020参照。

ざまな質問が寄せられていたが，とくに金曜礼拝（集団礼拝）に関するファトワーの閲覧数は最も多く，コロナ禍での礼拝の方法に関するファトワーも複数あった。回答では，コロナ禍においては感染を恐れる場合はモスクに行かずに自宅で礼拝することが許される（感染者はモスクへの出入りは禁止）とされる。集団礼拝を行う場合，本来は集まった人が近接して礼拝するが，ソーシャルディスタンスを取ることも許可される。そして自宅にいながら，集団礼拝の様子をテレビなど介して行うオンライン礼拝については，許されない，つまり集団礼拝したことにはならない，という回答であった。現地で礼拝者がつながりながら礼拝することが，集団礼拝の意義であり神の目的だからである。しかし非対面の集団礼拝を認める法学者も存在し，また欧米ではオンライン礼拝を行っているモスクや団体も存在するので，解釈は分かれているようである。

コロナ禍でムスリムの宗教実践は変化したが，ウィズコロナの時代には，さらに何らかの変化が生じるのかについては，今後も考察していきたい。

＊本稿は科学研究費補助金基盤研究（C）課題番号19K00077による研究成果の一部である。

## 参考文献

阿部哲 2021.「コロナ禍におけるイランの現状とその背景を探る――国際政治情勢とイスラームを手がかりに」『21世紀東アジア社会学』11, 107-118.

池内恵 2021.「アフターコロナの中東秩序」川島真・池内恵編『新興国から見るアフターコロナの時代――米中対立の間に広がる世界』UP plus, 東大出版会, 143-156.

石井正子 2020.「新型コロナと移民　第2回　サウジアラビア――コロナ禍が直撃する移民労働者の生存戦略」『IDEスクエア』アジア経済研究所, 1-6.

岩崎真紀 2021.「新型コロナウィルスがエジプト人の信仰生活に及ぼした影響――ムスリムとコプト正教徒に焦点をあてて」『現代宗教 2021』国際宗教研究所, 178-202.

河村有介 2022.「エジプトにおける新型コロナウイルス感染症の拡大と社会保障」『国際協力論集』29-2,119-131.

小谷仁務・田村まり・子島進 2021.「コロナ禍における日本のモスク ――感染症対策と支援活動」『第63回土木計画学研究発表会・講演集』1-14.

高橋圭 2022.「多様なムスリムが触れ合う場 ―― 米国におけるスーフィー系サードプレイスの形成と変容」『宗教研究』96-2, 103-126.

竹田敏之 2002a.「金曜日」大塚和夫ほか編『イスラーム辞典』岩波書店.(CD-ROM版)

竹田敏之 2002b.「金曜礼拝」大塚和夫ほか編『イスラーム辞典』岩波書店.(CD-ROM版)

羽田正 2002.「モスク」大塚和夫ほか編『イスラーム辞典』岩波書店.(CD-ROM版)

ブハーリー(牧野信也訳) 2001.『ハディース ―― イスラーム伝承集成』全6巻, 中公文庫, 中央公論新社.

ムスリム(磯崎定基・飯森嘉助・小笠原良治訳) 2001.『日訳サヒーフ・ムスリム』全3巻, 日本ムスリム協会.

森伸生 2002.「サラート」大塚和夫ほか編『イスラーム辞典』岩波書店.(CD-ROM版)

Awaji Maryam Ahmed 2020. "Pandemic of Coronavirus(COVID-19) in Saudi Arabia," *IOSR Journal of Research & Method in Education*, 10-4, 43-47.

Piwko, Aldona Maria 2021. "Islam and the COVID-19 Pandemic: Between Religious Practice and Health Protection," *Journal of Religion and Health*, 60, 3291-3308.

McLaughlin, Levi 2020. "Japanese Religious Responses to COVID-19: A Preliminary Report," *The Asia-Pacific Journal*, 18-9, 1-23.

Thurston, Alex 2020. "Islamic Responses to COVID-19," The Project on Middle East Political Science, *The COVID-19 Pandemic in the Middle East and North Africa*, POMEPS Studies 39, 15-18.